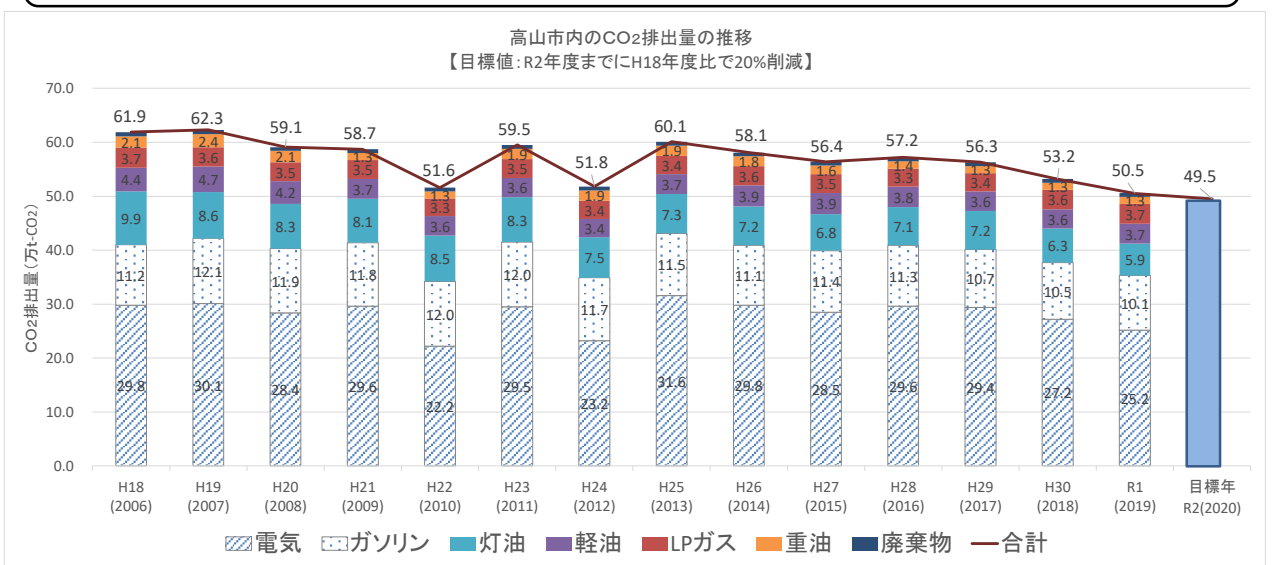


## 環境施策の進捗状況

高山市地球温暖化対策地域推進計画におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標の達成状況

令和元年度 50.5万 t-CO<sub>2</sub> ⇒ 基準年（平成18年度）比18.4%減（達成率93.6%）  
あと1.6%（1.0万t-CO<sub>2</sub>）削減できれば目標を達成

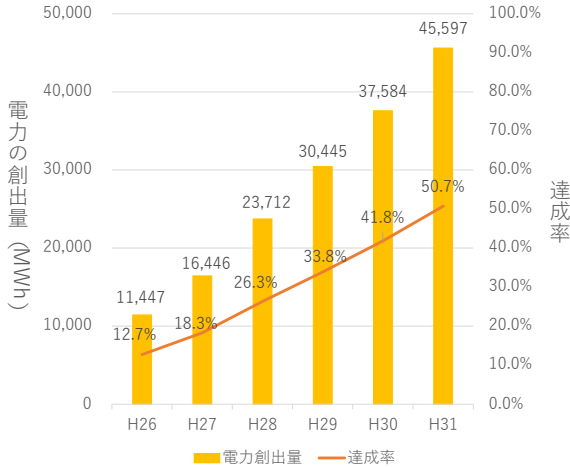


## 高山市新エネルギービジョン目標値の達成状況

令和2年度 新エネルギーによる電力の創出量 **45,597MWh/年** (達成率**50.7%**)  
 化石燃料から新エネルギーへの転換量 **4,783kℓ/年** (達成率**53.1%**)

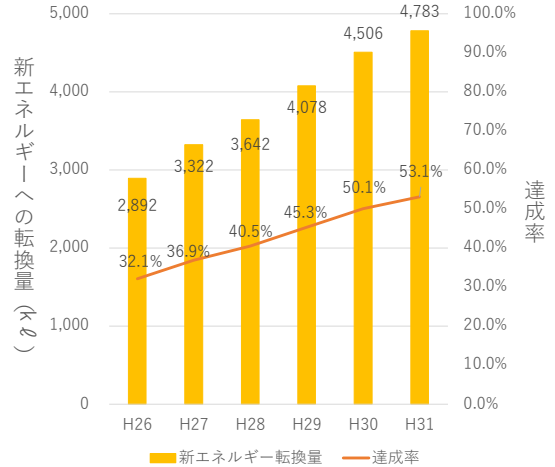
新エネルギーによる電力の創出量の推移

【目標値：令和2年度までに90,000MWh/年】



化石燃料から新エネルギーへの転換量の推移

【目標値：令和2年度までに9,000kℓ（原油換算）/年】



## 1. 自然との共生

### 1 自然公園に関すること

- 内 容
  - ・国立公園、県立自然公園等の管理  
乗鞍岳、県有登山道管理、中部北陸自然歩道管理
  - ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の運営・管理  
7月豪雨による被災箇所への復旧
- 概 要
  - ・乗鞍岳入込者数推計 11,545名（前年比89%減）  
【来訪自粛要請】  
※新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ、  
5月15日（金）から6月18日（木）まで休業  
6月19日（金）～自粛要請解除  
【令和2年7月豪雨】  
7月8日（水）早朝 乗鞍スカイライン道路災害発生  
平湯峠ゲートから約1.2km地点 道路崩落  
（延長約50m、幅約7m、高さ30m）
  - ・五色ヶ原の森入山者数 2,629名（前年比25%増）  
【営業自粛期間】  
※5月20日（水）～31日（日） 12日間  
新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため  
【休業期間】  
※7月8日（水）～22日（水） 15日間  
豪雨による被災のため  
【第16回エコツーリズム大賞（環境大臣賞）受賞】



乗鞍スカイライン被災状況



3/8 エコツーリズム大賞表彰式

## 2 「山の日」推進事業

○内 容 国民の祝日「山の日（8月11日）」を推進するとともに、自然とふれ合う機会を提供し、自然観察や登山に興味を持ってもらうため、全3コースのガイドツアーを開催

○実 績 延べ91名参加  
 ○ 8/29（土） 59名 五色ヶ原の森ガイドツアー  
 ○ 9/26（土） 19名 福地山ガイドツアー  
 ○ 10/17（土） 13名 位山ガイドツアー



9/26 福地山ガイドツアー

## 3 ジオパーク推進事業（協議会の事業を含む）

○内 容 ジオパークの取り組みをきっかけとし、持続可能な地域づくりを実現するため、飛騨山脈ジオパーク推進協議会与連携を図りながら、ジオパークの仕組みを活用した事業を実施

○実 績 ・日本ジオパークネットワーク活動（全国研修会等Web会議形式での参加）  
 ・ジオサイト候補地調査、ガイド研修  
 ・パネルイベントの開催（市内6箇所）  
 ・ジオパーク講演会&現地見学会（75名参加）  
 11/15（日）丹生川支所、現地見学（新張上野）  
 講師：原山智信州大学名誉教授  
 ・出前講座等の開催（10回、延べ190名参加）  
 ・ジオツアー（4回、延べ99名参加）  
 ※砂防施設、たから流路工河川公園、福地山等（共催含む）



11/15 ジオ現地見学会

## 4 白山ユネスコエコパーク推進事業

○内 容 平成28年3月に白山ユネスコエコパークが拡張登録され、荘川町全域が対象地域になったことを契機に、市民に白山ユネスコエコパークに関する理解促進を図るため実施

○実 績 ・県天然記念物「山中峠のミズバショウ群落」保全活動 指導：岐阜大学安藤准教授

実施日	実施団体	活動内容
6月6日	山中峠ミズバショウを守る会	野生動物の食害、侵入防止電気柵設置
6月15日	荘川小学校5年生	肉穂花序保護袋かけ

・10月5日 荘川中学校全校生徒がSDGsについて学習。地域の伝統やミズバショウをはじめとした自然環境の保全などの取り組みとSDGsとのつながりを確認

## 5 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会

○目 的 「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」に基づく、連携の拠点となる協議会を設置することにより、地域一体となった取り組みを推進し、中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化を目指す。

○実 績 ・乗鞍岳エコツーリズム検討部会開催  
 ・乗鞍岳エコツーリズム推進全体構想策定に向けた調査等の実施  
 ・飛騨山脈ジオパーク認定取得の推進  
 普及啓発看板作成  
 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森活用促進事業  
 英語版ホームページの作成  
 ・地元団体と連携した各種事業の実施、支援  
 乗鞍五ノ池周辺の植生調査、五色ヶ原の森生き物現地研修会、飛騨山脈ジオサイト研修会等  
 ・中部山岳国立公園活性化ニュースレターの発行  
 12月、1月、3月（3,000部）

## 5 特定外来生物防除事業

○内 容 特定外来生物（オオハングソウ、オオキンケイギク）から市本来の生態系や景観を守るため、防除作業を行うとともに、市民に対する周知及び意識啓発を図る

○実 績 ・重点地域を設定し特定外来生物の防除を実施

- ①市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」地域（清見町夏厩地内）
- ②中部山岳国立公園周辺地域（丹生川町久手地内、乗鞍スカイライン手前、平湯地内）
- ③せせらぎ渓谷県立自然公園周辺地域（清見町坂下～大原地内）

防除手法 掘り取り、刈り取り、除草剤  
防除量 5, 263kg

・特定外来生物防除講習会の実施（8月20, 25日）

特定外来生物に関する正しい知識の普及、防除方法の周知、防除活動の拡大を目的に開催  
新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、高山市役所1会場のみで開催  
参加者 21名

・オオハングソウ撲滅大作戦 in 清見（8月30日（日））

防除講習会の実地研修と位置づけ、地域住民をはじめとした市民の参加を募り防除作業を実施  
実施場所 清見町巢野俣 すのまたふるさと学校周辺  
参加者 43名 防除量 690kg

・特定外来生物防除奨励金の交付

特定外来生物の駆除活動を行った3団体に対し奨励金を交付  
防除量 2, 450kg  
交付額 38, 500円



8/30 オオハングソウ撲滅大作戦

## 2. 地球環境の保全

### 1 薪ストーブ・ペレットストーブ及びボイラー導入に対する補助事業

○内 容 地球温暖化対策の一環として、市民、事業所による新エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の構築と市内の地域経済の活性化に資するため、木質バイオマスを燃料とするストーブ、ボイラーの購入に要する経費の一部を助成

○対象者 市民、市内に事業所を有する事業者、町内会

- 助成内容
- ①ペレットストーブ等導入促進補助金  
ペレット・薪ストーブの購入に対する助成  
本体購入経費の3分の1以内の額 上限10万円
  - ②ペレットボイラー等導入促進補助金  
ペレット・薪・チップボイラーの導入に対する助成  
設備費及び工事費の3分の1以内の額 上限30万円  
ただし、出力4万kcalを超える大型ボイラー 上限500万円

○実 績 薪ストーブ 51台、ペレットストーブ 20台  
合計 71台（3月23日現在）

○効 果 これまでの導入台数（996台）による効果  
灯油消費量約50万リットル/年、CO<sub>2</sub>排出量約1, 255t-CO<sub>2</sub>/年の削減に寄与



臥龍の郷チップボイラー（一之宮町）

## 2 匠の家づくり支援事業

○内 容 市産材の需要拡大及び地場産業の活性化を図り、高山市の健全な森林づくりを推進する。

○概 要 建築主や建築場所により補助のタイプが異なり、以下の3種類に分かれている。

補助のタイプ	市内建築主（市内）型	市内建築主（市外）型	市外建築主型
建築主の要件	市民又は市内法人		市外の個人又は市外法人（国外を含む）
補助対象者	建築主		建築事業者
建築場所	市内	市外	市内・市外（国外を含む）
補助内容	1㎡あたり20,000円をかけた額に加え、同額を上限として市産家具等の木製品を購入した費用	1㎡あたり40,000円をかけた額を上限として、建築事業者が建築主に贈呈する目的で家具、木製品を購入した費用	

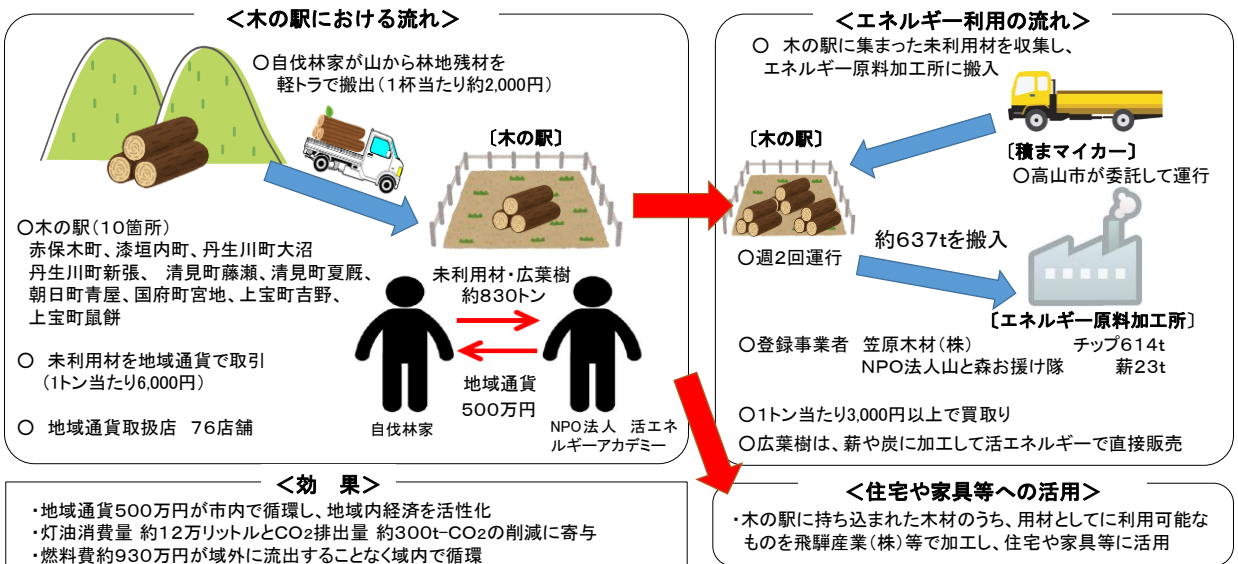
- ・いずれのタイプも、主な構造材に市産材を60%以上使用することが要件
- ・助成額 新築：上限100万円、増改築：上限40万円  
 ※新型コロナウイルス感染症に対する緊急経済対策により事業拡充  
 （令和2年9月から令和3年3月まで補助金額、補助限度額が通常の倍）

○実 績

市内建築主（市内）型	63件	18,849千円
市外建築主型	27件	8,889千円
合計	90件	27,738千円

## 3 木の駅プロジェクト

**木の駅プロジェクト** 林地残材の搬出を促進すると同時に、支払いを地域通貨で行うことで、地域経済の活性化を図る取り組み。市は、NPO法人活エネルギーアカデミーと連携し、木の駅に持ち込まれた間伐材を「積まマイカー」により収集、運搬。林地残材の有効活用により市内でのエネルギー活用を図る。



#### 4 断熱改修による建物の省エネルギー対策事業

- 内 容 ・高齢者住宅バリアフリー改修助成事業では、住宅のバリアフリー改修のほか、生活の維持及び向上と自立の助長につながる工事（高齢者のヒートショック対策、断熱改修など）に係る経費を一部助成  
・浴室等の断熱改修をすることで建物の省エネルギー対策につながる。
- 対象者 65歳以上の高齢者がいる世帯
- 助成内容 補助対象経費の1/2（上限37万5千円）
- 実 績 297件のうち141件で断熱改修 ※2月末現在  
〔改修内容〕  
内窓・断熱窓工事 111件、断熱工事（壁断熱、高断熱浴槽への入れ替えなど） 40件

#### 5 環境に配慮した小学校・中学校大規模改修事業

- 内 容 新宮小学校及び丹生川中学校の長寿命化改修にあたり、ペレットストーブの導入、照明のLED化、節水型トイレの設置、内装の木質化等を実施（平成31年度、令和2年度の2か年で実施）
- 実 績 令和3年3月完成予定  
・節水型トイレ導入（新宮小69台、丹生川中35台）、照明LED化、地域産材を使用した内装の木質化  
・ペレットストーブ導入（いずれも2か年で新宮小39台、丹生川中36台）  
※両校とも、太陽光発電（10kW）、蓄電池（15kW）は導入済み

#### 6 高山エネルギー大作戦

- 内 容 自然エネルギーに関する講義や体験を通し理解を深め、市民の自然エネルギー利用促進を図る。

##### ○実 績

- ・高山エネルギーフォーラム

令和2年6月18日（木）に市役所地下市民ホールで開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、開催を見送った。令和3年度は、6月17日（木）に開催を予定。

#### 7 地域での自然エネルギー活用支援

##### ①自然エネルギーの地域利用推進研修会

地域で自然エネルギーの利用推進に取り組む人材育成を目的として、地域で自然エネルギーを利活用する方法、エネルギーの地産地消のメリットなどについての講習会を開催

開催地域	開催日	会場	参加者数
久々野	令和元年 6月 7日（金）	虹流館くぐの	17名
丹生川	令和元年 6月14日（金）	丹生川支所	25名
朝日	令和2年10月16日（木）	燦燦朝日館	28名

内 容：地域住民が主体となった小水力発電の取り組み方

##### ②自然エネルギー導入支援事業・アドバイザー派遣

派遣先：飛騨あさひ自然エネルギー活用研究会

目 的：小水力発電設備の導入検討のための現地確認と机上検討

講師は、①・②ともに 特定非営利活動法人 地域再生機構 副理事長 平野彰秀氏



### 3. 快適な生活環境の確保

#### 1 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信開始

- 目的 3R（Reduce[廃棄物の発生抑制]、Reuse[再利用]、Recycle[再生利用]）のさらなる推進、適正なごみの分別収集の促進によりごみの減量化・資源化を図る
- 内容 ごみの収集日や分別方法などを手軽に確認できるスマートフォンアプリの配信を開始
- 開始日 令和2年8月1日

#### 2 家庭用生ごみ堆肥化装置設置補助金

- 内容 ごみの減量化対策として、家庭の台所から出る生ごみの家庭内処理を推進するため、家庭用生ごみ堆肥化等装置の購入に対し補助金を交付
- 実績 R2年度：35件、H31年度：17件、H30年度：19件  
※H29年度から、過去に補助金の交付を受けた世帯でも、複数回申請することができるようになっており、制度の周知を図り、利用の促進を図る

### 4. 豊かな社会環境の整備

#### 1 景観改善推進事業

- 内容 老朽化したごみステーション看板の取り換え
- 実績 設置箇所 267か所

### 5. 環境にやさしい人づくり

#### 1 河川水質調査（カワゲラウオッチング）

- 目的 夏休み中の小学生を対象に河川の水質を知ってもらおうとともに、調査の体験を通じて水質保全の重要性を認識してもらうため
- 期日 8月4日（火） ○会場 下水道センター
- 内容 宮川、苔川（調査地点5か所）の水生生物による水質調査  
宮川：二ノ瀬（石浦町）、中橋（本町）、万人橋（桐生町）  
苔川：越後橋（越後町）、国津橋（冬頭町）
- 実績 参加者51名（小学生30名、保護者21名）  
水質判定結果は、全地点で4段階中のⅠ「きれい」またはⅡ「ややきれい」



#### 2 いのちの森づくり

- 目的 土地本来の樹種を植樹し、森づくりに携わることにより、いのちを守り繋いでいく森の役割と生物多様性の保全について理解を深める
- 期日 10月31日（土）
- 場所 東部工場団地（松之木町）
- 内容 宮脇方式による植樹
- 実績 参加者26名 約80㎡の敷地に15種類の苗木を280本植樹  
（参考）これまでに5, 220本を植樹  
植樹場所：丹生川ダム、飛騨・世界生活文化センター、市役所前、こくふふれあい公園、中山公園



### 3 飛騨高山・山の自然学校

- 目的 季節ごとの自然の移り変わりを直接体験することで自然保護に対する関心を呼び起こすとともに、郷土の自然とその保全に関する正確な知識を養う。
- 内容 季節に合わせたフィールドや内容で自然観察会を3回開催
- 参加者 市民 延べ32名参加
- 実績 ① 8/22(土) 中止 夏の高山帯の自然観察(乗鞍岳)  
② 9/12(土) 14名 宇津江四十八滝の自然観察(国府町)  
③ 10/24(土) 12名 秋の奥山の自然観察(奥飛騨温泉郷平湯)  
④ 11/7(土) 6名 たから流路エジオツアー(奥飛騨温泉郷栃尾)  
⑤ 1/31(土) 中止 冬の里山の自然観察(久々野町・船山)  
※①は乗鞍スカイラインの災害、⑤は緊急事態宣言により中止



10/24 秋の奥山の自然観察(平湯大滝)

### 4 自然環境学習事業

- 目的 豊かな自然を有する森に入山することをおして、自然を体感し、生物多様性や自然環境に対する理解を深め、高山を守り育てていくための人づくりに資する。
- 内容 乗鞍山麓五色ヶ原の森や、市内にある国立・県立自然公園などにおいて、専門ガイド(森の案内人など)の説明を受けながら、生物多様性や自然環境など学校等の授業の一環として環境学習を実施
- 対象者 市内小中学生
- 実績 ・参加者等 全14回(14校) 563名  
・実施フィールド 乗鞍山麓五色ヶ原の森、せせらぎ溪谷県立自然公園、高屹山